



# プール学院

## 将来に必要な力を育てるために

きめ細やかな教育で築かれる信頼関係を礎に  
未来へとつながる学力・目的意識・人間性を育む



林間学校で東日本大震災被災地に送る「ミサンガ作り」に挑戦。

**学年ごとに  
教員の思いを反映した  
独自の取り組みを展開**

普段の学校生活や行事における「きめ細やかさ」は、キャリア教育においても見られます。恒例行事にアレンジを加えたり、新たな取り組みをスタートさせたりと、教員が工夫を凝らし、各学年で独自性をもって展開しているのです。

例えば中学では、中1は5月の遠足に、初めて奈良女子大学の「キャンパス見学」を盛り込みました。中1学年主任・東良恵利先生は、

「勉強に対するモチベーションを持ってほしいとの思いから実現させたもので、在学OGによる講演会も実施しました。質問タイムには、英語の勉強法など大学受験を意識した質問が多く飛び出し、有意義なひとときを過ごせたと感じています」

と、手応えの大きさを語ります。

また、これまで日帰りだった7月の校外学習を1泊2日の林間学校に変更。学年の連帯感を高めることに主眼を置いたオリエンテーリングのほか、東日本大震災で被災した相馬市と提携し展開しているボランティア活動「プール相馬つながるプロジェクト」の一環として、相馬市に送るためのミサンガ作りにも取り組みました。

「仲間とのコミュニケーションや、他者を思い自分にできることを考え実践することを通じて、まずは『自分とは何か』、将来的には『社会のなかで自分に何ができるのか』を問いかけるきっかけになればと考えています」（東良先生）

中2では、自ら将来を切り拓いていくための情報を提供する。ことに力を入れています。そのため取り組みの一つとして独自に行っているのが、新聞記事の掲示です。月3回ほど、教員が持ち

回りで担当教科に関する記事をピックアップし、教室の壁に掲示します。

「英語科の教員なら日常生活で使える英会話の紹介記事だったり、社会科は地震を始めとする災害の歴史をテーマとした記事だったりさまざまです。中1からの取り組みですが、次第に記事について解説を求める生徒が出てきます。何気ない日々の中での積み重ねによって、各教科に対する興味を育むとともに、自分自身で進路を選択するうえで必要となる、『生きる力』としての広い視野を培うことをねらいとしています」

（中2学年主任 来栖富士夫先生）

現在の中3は、中1での新聞社見学を皮切りとしてキャリア教育を積み上げてきました。中2のときには性教育を目的とした病院の「思春期教室」に参加し、併設の助産師学校で学ぶ学生の話も聴く機会も設定。どちらも現在の中2にも受け継がれている取り組みです。そして今夏は、毎年有志の中3・高3で行われているプール幼稚園での「保育体験」を、中3独自のプログラムとして実施。恒例の「法廷見学」同様に希望者対象とし、2つを同日に行いました。



プール幼稚園で「保育体験」。

「『保育体験』の機会を独自に設けたのは、中学生の参加枠を少しでも広げたいという一心からです。今年は希望者全員が参加でき、本当によかったと感じています。今後も、より充実したキャリア教育を目指したいと思っています」

（中3学年主任・今井千晴先生）

これらのバリエーション豊かなキャリア教育は、将来の糧となるようにと願う教員の強い思いの現れ。教員と確固たる信頼関係を築いていける安心感に満ちた環境のもと、未来へと羽ばたく力が着実に育まれているのです。

### 早期からのきめ細やかな教育で学習・進路指導に不可欠な

**心の結びつきを生む**

2012年度の新コース制導入、英語学習の強化など、教育改革を積極的に推進する同校。すべての取り組みにおいて貫かれているのが、伝統の「きめ細やかな教育」です。進路の実現や社会での活躍を見すえ、学力、目的意識、



「根底にあるのは、人生で最も不安定な『中学生』という時期を、生徒の心の内側に入って支えていきたいという思いです。そうした過程で生まれる教員と生徒の心の結びつきこそが、私たちの目指す教育を実践するうえでの基本になると考えています。生徒とのつながりを深めることは、個性を見極め、一人ひとりに合った接し方を発見することにつながります。個々の気付きや成長を促すうえでも有効なのです」

（教務部長・勝見昌浩先生）

学習面の取り組みのなかでも「きめ細やかさ」が顕著に現れているのが、放課後の「居残り補習」です。

「特に初期の段階では、学習を生活習慣の一部にするということが大切です。宿題をする、期限までに提出する、小テストに備えて勉強するといった学

人間性をバランス良く着実に培えるよう、ていねいな学習指導を行うと同時に、細やかな配慮をもって学校生活や行事にもさらなる充実を図っています。

習習慣を身につけるための時間として、16時半から18時20分まで補習を行っています。宿題ができていない生徒はもちろん、学習進度の遅れが見られる生徒にも臨機応変に声をかけ、宿題や課題に取り組みせています」

（勝見先生）

加えて、国公立大学への現役合格を目指すコース「一貫特進」では、英・数2科目の発展学習や復習のための補習も行い、レベルアップを図ります。また、自分で課題を定めて取り組む自学自習も行っています。



林間学校で全員集合！